

宇都宮市立桜小学校 第5学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【学習に関する項目について】 ○「家で、学校の宿題をしている。」が97. 8%で、決められた学習にきちんと取り組む姿勢が身に付いていることが分かる。また、「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている。」の肯定的回答は72. 7%と県の平均の59. 9%を上回っている。自分から興味関心のある学習に進んで取り組もうとする意欲が高まっていることも分かる。 ○「家で、テストでまちがえた問題について勉強をしている。」の回答は70. 7%で県の64. 5%を上回っている。今後も復習することの大切さを伝えながら学習方法を提示し、学習内容の定着を図っていく。 ●「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である。」の肯定的回答は34. 1%と県の47. 7ポイント下回っている。発表への抵抗をなくすために、簡単な質問をしたり、ペアやグループの発表から始めたりするなどスモールステップで取り組む。また、児童の発表を効果的に褒めるなど、自信をつけ、意欲を高めていく。 【自分自身のことに関する項目について】 ○「人と話すことは楽しい」の肯定的回答が100%となり、充実した学校生活を送っていることが分かる。 ●「毎日、同じくらいの時こくにねている」の肯定的回答が70. 5%で県の78. 8%を8. 3ポイント下回っている。「早ね、早起きを心がけている」の肯定的回答が68. 2%と県の76. 7%を下回っている。児童に生活習慣の大切さを伝えるとともに、各種たより等を活用して保護者にも啓発していく。

宇都宮市立桜小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣	自分で計画を立て、家庭学習に取り組む ・「家庭学習のすすめ」の活用 ・「家庭学習のヒント」の活用	「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の肯定割合が4年生71. 2 %、5年生63. 7%。どちらの学年も県の肯定割合より低い結果であった。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことはむずかしい」の割合が4年生76. 9%、5年生63. 6%。どちらの学年も市の割合より高く難しいと感じている。	自分の考えをまとめ、書く力を育成する取組	国語科を中心として、全教科で書く力を育成 ・言語活動の充実 ・書く機会の充実